

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

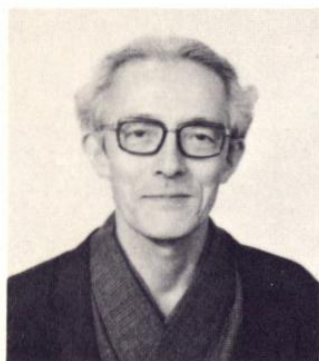
会長：小杉善二 幹事：塩村喜代次

情報委員長：米沢修一

1980・6月12日 第167号

“郷土における茶道の歴史”

裏千家茶道教授 大島宗古氏



金沢の地に茶道を取り入れたのは利家、利長公さらに千利休七哲の一人と言われた高山右近である。

以来京より金森宗和、江戸から小堀遠州の二流が入るに及び茶道は武将の修養、嗜として盛んに行われるようになる。

武備より大平の世に対処すべく美術工芸に力を注ぐ利常代になると京都より仙叟宗室を招き所謂茶の心髄とも言うべき佗の茶を広め侍中心の茶道が次第に町方へと移って行くのである。名器の収集での安宅コレクション、畠山美術館などは時代をさか上れば、この地にこうした茶道の素地があった代表的なものではなかろうか。

幕末、前田家が多くを放出、美術品に対する土地の識者の目を心を膨らませて行った。明治に入り実業家が名器の収集に力を入れ、一時期は高橋箒庵をして「金沢の富のほとんどは骨董品である」と、言わしめている位である。しかし大正になると豊潤な財界人から茶道は一般レベルへと浸透し、家々の数寄者が夫々の格において釜を掛け茶を楽しんだ。明治の頃の名器を中心とした茶も少しずつ減って行くのである。

その後、茶道も苦難な時を経るが、持ちこたえ戦後は日本の心として外国にも理解されるになり国際親善の一役を荷っている。

今日数の上では盛んな茶道も形だけでなく本当の茶の心を理解しなければならない。私達は淡交会という裏千家の組織の中で利休居士の理想を追求すべく精進している。

今年も尾山神社での献茶式が行われる。この意義深い行事に利家公はじめとして一盃の茶を差し上げられることは又嬉しく想うのである。

—金沢北RC例会講話から— (文責 米沢修一)

私の職業奉仕

才田 次男

私は昭和22年1月、北国銀行員としてスタートしてから、銀行員としての心構え、実務の両面から、多くの先輩、上司の方々から、或は書物によって教えられてきましたが、振り返って見ますと銀行員という立場だけで信用を戴き、或は多くの方々とお近づきをいたゞいたり随分有利な点が多かったのではないかと考えます。然しそれに対し如何に報いてきたかを考えますと、恥入ることばかり多くて申し訳なく存じます。

私の手許に、昭和初期の金融界の先覚者であった一瀬栄吉氏が書かれた「銀行経営私観」という小冊子があり、これを座右の銘としております。この小冊子は、十数年前に当時の本陣頭取より、銀行に職を奉ずるものにとって心得うべきこととして熟読玩味し、自らの修養と向上に資す可しとして配布されたものです。内容は正に名言の集成で、一言一句が至言の集りであります。



ほんの一部をご紹介しますと、先づ「経営は人に在り」から始まり、「銀行は個々の取引を尊重すると同時に、国家社会上大きな任務を帯びていることを忘れてはならない」と説き、「銀行と顧客とは互に杖となり柱となって自他共栄の精神を以て共に堅実な歩調を取ることが必要である」。又融資に当っての数々の心得の中に、「すべて取引は、全行員の承服で得る透明なものでなければならない」と戒めております。

最近新聞を賑わしている相互銀行の欠損や大会社、官庁の不明朗会計等は、この経営の真理をおろそかにした結果であると考えます。締め繰りの言葉の中に「今まで述べてきたことは、極めて平凡なことばかりであるが、真理は平凡の中に在る」旨を述べてあります。

世はコンピューター時代に入っても、数十年前に書かれたこの小冊子の内容は今もって真理であります。

私は現在電算機関係の業務に司はっておりますが、何れのシステムを組立てる場合でもその中に一つの理念を持たないと、そのシステムは単なる道具であったり、或は重大な欠陥を持つことがあります。

私の場合、先づ銀行を利用されるお客様に真に役立ち、且つ銀行の合理化になるものであり、事故防止に万全であることを基本的の思想として組み込む様にしております。

最近当クラブに入会させていたゞいてからロータリー関係の書物を読みますと、この小冊子の内容とロータリー精神がまさに一脈相通ずる所があることが判りました。

どうか今後共宜敷くご指導方お願い申し上げます。

第333回例会

◆5月29日(休)快晴 12:30~13:30 ホワイトハウス

1. フィルム上映

「蒔絵の美」「松田権六の世界」

2. 出欠

出席42名、欠席13名、出席率76.36%
ビジター31名

3. 来訪者 (敬称略)

志賀RC 橘勇選(衣料品販売)
加賀RC 後藤長司(食堂)
松任RC 北村勉(喫茶)
金沢RC 岡田虎二、本多政一
河野良三、南定雄、小松嘯一
織田広、永田満夫、中島秀夫
上東慶一
金沢東RC 山宮外雄、平野知康
金沢西RC 松本外次、新村利夫
渡辺超、根岸一雄、森政吉
小堀甚九郎、中村吉輝、伊能忠敏
八町昭八郎

4. 幹事報告

○転勤の為退会の石川栄治会員より御挨拶状拝受。
○ニコニコBOX

- 自宅新築完成 木下和吉
- 長女結婚致しました 岡部三郎
- 亡き母の一周忌を終えて 浅野弘明
- 遠来の客の接待にあたり、ロータリアンの友情に感謝して 山岸与作
- 会報に「私の職業奉仕」がのって 小間井宏尚
- 京都洛北RCとの友好会に欠席して 桜井健太郎
- 本日の会報に私の写真が3枚ものっていました 鈴木透
- 今日はすっきりしたお天気でした 俵外代吉

合計45,000円 (累計 1,309,000円)

6. 今週のニュース

中国首相の来日。これは二千年に渉る交流史のなかでも初めての画期的なこと、感慨を深くさせられるも当然。首相自身もいくつかのドラマがあったようだ。一説によると非嫡出子として辛酸をなめ、中華抗日救国先鋒隊から三字をとった姓名も中国史の中にみられる風雲児なのかも知れない。卓越したバランス感覚とともに風貌が十億の国民を制しているのではなかろうか。故毛沢東主席と共に中国を治めるには容姿が必要なのか、華国録首相にも共通の何かを感ずるようです。

5月クラブ日誌

- 5月1日 次年度理事会 於：十字屋松任店
5月2日 5RC役員会 於：金沢都ホテル
5月8日 5月定例理事会
5月13日 新旧理事会
5月17日 京都洛北RC友好親睦会 於：加賀屋
5月22日 茶道部会 於：蓮寺

第334回例会

◆6月5日(休)晴 12:30~13:30 ホワイトハウス

1. 講話

「郷土に於ける
茶道の歴史」

金沢南RC会員
大島宗古君

2. 出欠

出席39名、欠席16名
出席率70.91%
ビジター17名

3. 来訪者(敬称略)

金沢RC 平沢寿
岡田康、高光一生



柿埜昌彦、柴野正英

金沢東RC 中田淳造、柳原孝
岡田義明、増井常吉、大内三郎
金沢西RC 田辺弥作、綾塚修司
金沢南RC 大島宗古、谷口博夫
辻弘、清水昭男、松井正作

4. 幹事報告

○例会終了後、次期国際奉仕・職業奉仕委員会開催

5. 皆出席顕彰

3ヶ年 増江泰君

6. 御誕生日祝

長谷川壱人君、越野民男君
庄田厚郎君、桜井健太郎君、増江泰君
館山松雄君

7. 御結婚記念日祝

越野民男君、浅野弘明君
高他達郎君

8. ニコニコBOX

- 5RCゴルフコンペ団体優勝致しました 大村精二、桜井健太郎
- 結婚18年を記念して 浅野弘明
- 結婚30年、真珠婚式を迎えて、また6月6日、56才になります 越野民男
- 大島先生を卓話にお迎えして 吉山宥海

○昨日、金融関係ゴルフコンペで今期のベストスコアで優勝しました 高他達郎

○一年間、誕生日祝・御結婚記念日祝を発表させて頂きました 飯野健志

○妻の49日をすませました 高田全

○失敗を重ねていた釉の研究で、その原因の一部が先日わかりました 長谷川壱人

○日本工芸会金工部金沢大会無事終了しました 魚住安彦

合計29,500円 (累計 1,338,500円)

9. 今週のニュース

異常気象、今年是世界共通か、緑したたる季節というのに早い入梅、短い夏と気がかりな話、東南アジアやオーストラリアが大干害に泣かされているが61年振りにモスクワは先月氷点下、仏ソ首脳会談も随分気象の言葉で交渉がなされた様子。米国の対ソ穀物制裁にからめられて苦しい答弁のソ連外相「春へのピザをなかなか出さないのが西欧」と云えば、仏大統領「いやつめたい風はむしろ東欧」と切りかえず意味深重な火花散る春風論争の舌戦微妙さを象徴していると言へば終るかも知れないが、日本も先行重苦しい異常気象。